

Something New

サムシングニュー

vol.43
WINTER.2019

特集:障害者の地域移行

よりそう場所として



南山城学園広報誌「Something New」(サムシングニュー)43号 平成31年3月1日発行(年4回発行) 発行責任者:櫻彰裕 発行:社会福祉法人南山城学園 〒610-0111京都市城陽市雷野狼谷(番地) TEL.0774-52-0425(代) FAX.0774-53-7578

京都市伏見区
(醍醐エリア)



京都市
中京区・下京区
(保育園)



城陽市
(城陽・宇治)
エリア



若年者等就労支援拠点サザン京都(地域若者サポートステーション京都南)
〒610-0121城陽市寺田水度坂15-170 TEL 0774-54-5381 FAX 0774-54-5382

一緒に働きませんか?

正職員、パート職員として働きたい、ボランティアをしたいという方は、南山城学園の採用サイトをご確認ください。
<http://r-minamiyamashiro.com/>



編集後記

生後7ヶ月の保護犬を引き取り、3ヶ月が経ちました。しばらくは何をするにも噛みつかれていた日々でしたが、ようやく安心して甘えてくれるようになりました。キッチンでさつまいもを切り始めると一目散に私の足元へ。「僕のごはんだ!」と言わんばかりに嬉しそうにキャンキャンとリクエストします。彼の大好きなさつまいもは我が家の常備菜。毎日の愛らしい表情にメロメロです。(田中)



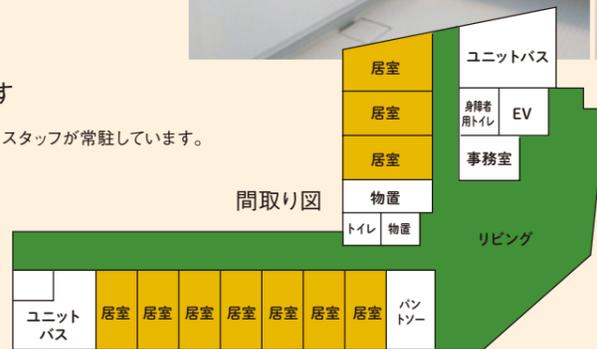
よりそうカ

障害者グループホーム 宇治小倉 ホーム

障害者のグループホームとして、1階、2階合わせて定員17名です。グループホーム内にショートステイ2床、体験利用1床も運営しています。

入居者様の1日のスケジュール

- 06:30 起床・着替え・整容
- 07:00 朝食
- 07:30～09:00 就労先・作業場・企業出勤
- 15:00～16:00 グループホーム帰宅
- 16:00～16:30 団らん
- 16:30～18:00 入浴
- 18:00 夕食
- 19:00～20:00 団らん
- 21:00 居室で過ごす
- 22:00 就寝 ※夜間スタッフが常駐しています。



部屋の広さ
8㎡(14部屋)、8.8㎡(3部屋)

職員の体制
管理者1名
サービス管理責任者1名
生活支援員、世話人、計16名ほか



障害者支援センター じゃすと

障害のある方やそのご家族が、障害福祉サービスを適切に利用できるように、サービスなどの利用計画を作成します。また、ホームヘルパー、ショートステイなどの利用や補装具、日常生活用品などの社会資源を活用するために必要な情報を提供します。

対象 京都府宇治市にお住まいの障害のある方
相談日時 月～土 9:00～17:00
TEL.0774-23-0288 FAX.0774-23-0289



特集 障害者の地域移行

地域福祉支援センター 宇治小倉を開設！



[所在地] 〒611-0021 京都府宇治市宇治蔭山9番11 ※地図は8ページに掲載しています。

中期経営計画2020

(創立50年を機に策定した「ネクストビジョン2025」内)

- (1) 障害者の地域移行
- (2) 高齢障害者の居住安定
- (3) 高齢者福祉の充実
- (4) 地域コミュニティの活性化
- (5) 福祉教育・啓発の推進
- (6) 魅力ある職場づくり
- (7) 災害時の対応
- (8) 保育・子育て支援事業の展開
- (9) 生活困窮者への支援
- (10) 研究と実践の連携

(1) 障害者の地域移行
入所施設利用者の地域移行促進のため、京都府南部地域でグループホームを整備し、入居者数を80名にします。



センター長 日置貞義

地域の中にある施設(グループホーム・就労移行支援事業・相談・カフェ)として、利用者様や地域の方から必要とされ、相互に協力し寄り添いあえる施設づくりをスタッフ全員で目指します。

2018年7月2日

地域の
寄り合いや憩いの
人気スポットに

OPEN

カフェ さびゅいえ



障害のある方が就労訓練を行う就労移行支援事業所「工房さびゅいえ」も兼ねたカフェです。メニューの食材には、京田辺市にある自家農園「ぶちぼんとファーム」と障害者支援施設魁の「のびのび農園」で採れた低農薬野菜を使用しています。



工房さびゅいえで仕込んだ自家製農園の低農薬野菜を、カフェさびゅいえでランチや自家製ケーキ、こどもメニューとして提供。
すべての食材は国産のものを使用し、低農薬野菜を使ったお料理は、素材の持つ本質的なおいしさを味わっていただけます。

営業時間 10:00~15:00 ランチタイム11:00~14:00

定休日 日曜日・祝日

駐車場 近隣に専用駐車場有り 5台

地域交流イベント「親子で一緒に絵本カフェ」実施中

地域交流イベントとして11月より月1~2回季節に合わせて絵本カフェを実施しています。11月は絵本「ポポくんのミックスジュース」にちなみ、ミックスジュース作りとハロウィンクッキー作り、12月にはケーキ、クリスマスリース作りを実施しました。



イベント開催のご案内

交流イベントは2ヶ月に1回程度のペースで開催しております。詳しい情報は店頭ポスターまたはカフェさびゅいえのホームページの「お知らせ」にて告知しておりますので、ご参加ください。



カフェさびゅいえ
ホームページ



対象 京都府山城北圏域にお住まいの障害のある方

相談日時 月~金 9:00~17:00

TEL.0774-23-0280 FAX.0774-23-0281

※地域福祉支援センター宇治小倉の新設に伴い、近鉄大久保駅近くから移転しました。

「はたらく」を支える
就業支援

実習先の開拓、
あっせん

職場定着支援

相談

「くらす」を支える
生活支援

生活習慣・
リズムづくり、
体調や金銭管理、
余暇など助言

企業からの相談もお受けします

- ・ 障害のある方の実習受け入れや雇い入れに対する相談
- ・ 障害のある方の新たな作業内容や仕事場変更に伴う相談
- ・ 中途障害になった方の雇用や復帰に関する相談
- ・ さまざまな障害特性についての研修や講習の紹介 など

在職している障害者の交流イベント「星和はびねす21」を毎年企画。2018年はボーリング大会で交流をしていただきました。



障害者就業・
生活支援センター

はびねす

障害のある方が働いて自立できるよう、相談をもとに、ハローワーク、保健所、病院、福祉施設、学校など地域の関連機関と協力して、「はたらく」と「くらす」を一緒に支えています。

就労支援移行支援
事業所

さびゅいえ

就労訓練プログラムとして、カフェさびゅいえ(S' APPUYER)や隣接する食品加工場での作業を通じて、一般企業への就労を目指します。



① 隣接する食品加工場での軽作業



② カフェでのキッチン・ホール補助(調理補助、接客など)

翼「音楽療法」

当法人の各事業所では、さまざまな場面で専門知識や技術を生かした協力やイベントのお手伝いなど、多くの方のサポートをいただいています。今回は障害者支援施設 翼(つばさ)の音楽療法をご紹介します。



翼では以前から利用者様の生活の楽しみとして音楽療法プログラムを実施しており、2009年からは鷺山和貴子さんに月1〜2回来ていただいています。

ね!」と鷺山さん。「代わりに『でんとう虫のサンバ』はどうですか?」

と、さりげなく全員が知っている曲を提案してくださいました。



季節を感じる曲を選んでいつも一番に到着する利用者様からのリクエストで、活動が始まる前には必ず1セッション、ピアノのメロディが翼全体に響き渡ります。

そして、全員が集まったらピアノの合図とともに「はじまりの歌」。音楽が始まると利用者様の手拍子と歌声、そして笑顔でいっぱい空間に。

11月は秋をテーマに「どんぐりころころ」や「むらまつり」を選曲。「むしのこえ」では楽器で虫の声を奏でました。

一人ひとりに向き合せて心もほぐれて温かい空間にセッションが終わると、必ず振り返りを行います。

「今日は『恋のうた!』」
「思いがけないリクエストに…」

「よりセッションに参加しやすい環境や楽しめる方法、こういうこともできるのでは?」など一人ひとりの様子を確認させていただいています。音楽療法は歌を歌うだけではなく、一人ひとりに合わせた形で実施していくことが求められるものです。これからも皆さんがより楽しめる時間、空間を提供していきたいなと思っています。」



音楽療法を月1〜2回実施してくださっている鷺山和貴子さん

奏でる音楽ひとつで表情が変わる。それは職員とともに、利用者様一人ひとりと向き合ってくださっているからこそ。その気持ちが伝わるから、利用者様の心もほぐれて温かい空間になっているのでしょうか。

教えて!

座ってできる棒体操

高齢でも

簡単にできる「猫背改善体操」

監修 デイサービスセンターすまいる 柔道整復師 澤田昌平

「腕が上がらず、日常生活の中で洗濯物が干しにくい」「食べ物を飲み込みにくくなった」「呼吸がしにくい」などの症状はありませんか? 背中が丸くなっていることが原因かもしれません。背中が丸くなると内臓まで縮こまり、内臓に負担。嚥下機能や消化機能、呼吸機能の低下が起こります。背中や肩甲骨周辺の筋肉を動かすことで、肩甲骨が正常な位置に戻り、内臓の負担が減ります。これからも生き生きと暮らしていくために、猫背改善や腰痛を和らげる効果がある簡単な棒体操をご紹介します。



用意するもの: ラップの芯(新聞を棒状に丸めたものでも可)



① 背もたれのない椅子に背筋を伸ばして座り、ラップの芯を写真のように持ちます。



※この体制ができる方は写真の位置からスタートしてください。痛みが出る場合は無理せず、膝上からスタートする体制で始めてください。



② 棒を胸の上まで、体のラインに沿って背筋を伸ばしたまま、左右の肩甲骨をつけるイメージで持ち上げます。



③ 体のラインに沿って①に戻っていきます。1日1セットずつでもよいです。動かすことを心がけましょう。



4月に大阪府島本町に障害者多機能型施設をオープン

平成31年4月、大阪府三島郡島本町に多機能型事業所をオープンします。生活介護や就労継続支援B型の通所機能と、緊急時対応に備えたショートステイを併設します。「生きがい」と「役割」を持ち、豊かな生活を支援できる地域生活支援拠点として役割を担っていきます。

[所在地]
大阪府三島郡島本町桜井三丁目210番11号



お知らせ